

草津市市民まちづくり提案制度
協働事業評価シート

■協働事業概要

事業名	草津市内活動団体紹介映像コンテンツ作成事業
事業目的	市内で活動する団体の活動情報を広く収集し、市民の関心を引くような手法を用い情報発信することで、市民活動への参加・参画機会の拡大と、市民活動団体を活発にする。
実施形態	委託事業 / 協定事業
実施(契約)期間	平成23年 6月15日 ~ 平成24年 3月31日 【継続事業/新規事業】
事業担当課	まちづくり協働部 まちづくり協働課
団体名	特定非営利活動法人 アイ・コラボレーション

■プロセス評価

※ 評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった
4:できなかった 5:該当しない

※ 「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

		評価欄		
		団体	市	
事業実施前	1	協働で事業を実施する目的を両者で確認しましたか。	2	2
	2	事業の成果目標を協議のうえ設定しましたか。	3	2
	3	具体的な企画内容や実施内容を協議のうえ決めましたか。	2	2
	4	事業を進めるための役割分担を協議のうえ決めましたか。	2	2
	5	成果物(著作物)の帰属や公表、また、その活用の方法について協議をしましたか。	2	2
事業実施段階	6	事業の進捗状況や必要な情報について共有できましたか。	3	3
	7	相手方の得意な分野や弱い分野を理解し、協力しあいながら事業を進めることができましたか。	1	2
	8	事業を進めるにあたり状況の変化に応じて、協議しながら柔軟な対応ができましたか。	3	3
	9	お互いの機能を生かし、必要に応じて市民への参画を呼びかけましたか。	5	5
事業成果や波及効果	10	事業の成果目標は達成できましたか。	3	2
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	2	2
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	2	2
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	2	1
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	2	3
	15	経費の見積もりは適切でしたか。	2	2
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	3	3

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

番号	理由
9	当事業は活動団体に対して取材を行うものであるため。市民に対しては成果物を周知し、視聴いただく。

■成果と今後への提案及び課題と改善のための提案

【団体】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
草津市内で活動されている団体の活動内容を知ることが出来た。	提案事業で関わった他団体と新たに協働で事業をすすめていけないのではないかな。
課題点	改善のための提案
事業内容に必要な制作能力を最後まで維持できなかった。	事業経過をより密度濃く、連絡しあえる仕組みづくりをしていったらどうか。

【市】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
市内の活動団体を、映像という行政単独では実現しにくい手法で紹介する媒体(DVDとサイト)ができた。	媒体を広く市民に周知するとともに、市内施設でのDVDの貸し出しや研修などでの活用を促す。
課題点	改善のための提案
事業の進捗に遅れが生じ、映像の修正などに多くの時間を要した。	事業の進捗をより密度濃く共有するとともに、製作中のものも含め、早い段階から製作物をチェックできる体制を確立する必要がある。

草津市市民まちづくり提案制度
協働事業評価シート

■協働事業概要

事業名	「いいことないかな?でんごんばん」事業
事業目的	市内で活動する団体の活動情報を広く収集し、市民の関心を引くような手法を用い情報発信することで、市民活動への参加・参画機会の拡大と、市民活動団体を活発にする。
実施形態	委託事業 / 協定事業
実施(契約)期間	平成23年 6月25日 ~ 平成24年 3月31日 【継続事業 / 新規事業 】
事業担当課	まちづくり協働部 まちづくり協働課
団体名	草津コミュニティ支援センター運営会

■プロセス評価【公開】（実施後のみ）

※ 評価・・・1:よくできた 2:ある程度できた 3:あまりできなかった
4:できなかった 5:該当しない

※ 「5」を選択された場合は、下記記述欄にその理由を記入してください。

		評価欄		
		団体	市	
事業実施前	1	協働で事業を実施する目的を両者で確認しましたか。	2	2
	2	事業の成果目標を協議のうえ設定しましたか。	1	2
	3	具体的な企画内容や実施内容を協議のうえ決めましたか。	1	1
	4	事業を進めるための役割分担を協議のうえ決めましたか。	1	2
	5	成果物(著作物)の帰属や公表、また、その活用の方法について協議をしましたか。	1	2
事業実施段階	6	事業の進捗状況や必要な情報について共有できましたか。	1	2
	7	相手方の得意な分野や弱い分野を理解し、協力しあいながら事業を進めることができましたか。	2	2
	8	事業を進めるにあたり状況の変化に応じて、協議しながら柔軟な対応ができましたか。	2	3
	9	お互いの機能を生かし、必要に応じて市民への参画を呼びかけましたか。	1	2
事業成果や波及効果	10	事業の成果目標は達成できましたか。	1	1
	11	協働で事業推進することによって、単独で実施するよりも成果が上がりましたか。	1	1
	12	協働で事業推進することによって、組織にとって何か変化をもたらしましたか。	1	2
	13	事業の結果(成果)などを広く情報提供をしましたか。(予定がある場合も含む)	1	2
	14	市民自らが地域の課題解決に取り組む機運が芽生えるなど、従来よりも市民の参加機会が広がりましたか。	2	1
	15	経費の見積もりは適切でしたか。	5	5
	16	トラブルが発生した際の準備や対応は適切に行われましたか。	1	2

「5:該当しない」を選択された場合は、その理由を記入してください。

番号	理 由
15	協定による協働事業であるため、互いの資源を活用し合いながら事業を進めたため。(市予算はなし)

■ 成果と今後への提案及び課題と改善のための提案

【団体】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
ネットワークの拡大。町内会回覧により周知度が上がり、市民の参加が増え、団体の活動活性化に貢献できた。	紙面の充実を図り、さらに読みやすいものにする。戸配の検討も実施する。
課題点	改善のための提案
資金不足。回覧のために納期が早まったことやまだまだ周知不足で掲載情報が集まりにくく、情報がやや固定化している。	市民団体への声かけを行い、広い分野からの情報提供をお願いし、紙面の工夫を計る。配置協力を増やす。

【市】

成果があった点	さらにその成果を生かすための提案
・アンケートの結果、媒体を見て市民活動に参加・参画する市民が多かったこと。 ・団体(協働相手)のリスクマネジメント力の向上。	団体のネットワークや市の情報発信力を更に活用し媒体の更なる周知を図るとともに、引き続き協定を締結し事業を進めていく。
課題点	改善のための提案
原稿確認から発行に至るまでの団体と市の連絡体制が若干曖昧なまま事業が進んだため、お互いが今どういう状況にあるか把握しづらい部分があった。	事業の進捗をより密度濃く共有することが必要。